

学習の指針（シラバス）

教科名	技術科	実施学年	3年	週時数	0.5時間
-----	-----	------	----	-----	-------

1 学習の目標

- 生活や社会で利用されている生物育成や情報の技術について基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現することができる。
- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	5	●生物育成に関する技術 ・栽培環境について ・生物の育成実習	・様々な生物の育成に必要な環境づくりについて、考え、発表することができる。 ・育成計画に基づいた生物を育成し、適切な環境を維持できるよう工夫し観察することができる。	17.5 時間	・定期テスト ・ワークシート ・育成計画 ・観察記録 ・発表
	6				
	7				
第2学期	9	●情報に関する技術 ・計測・制御による問題解決 ・プログラムによる計測制御実習	・計測・制御のプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。 ・計測・制御を活用して生活を便利にする方法を話し合い、発表等ができる。 ・プログラムを組むことができ、プログラム通りに動かすことができる。		
	10				
	11				
第3学期	12	●これからの情報の技術	・情報の技術での学習をふり返り、技術の見方、考え方について考える。		
	1				
	2				

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか、毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価等から評価します。	・学習プリント ・学習への取り組み ・自己評価
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫して解決したか、見通しをもって作業することができたかを作業の内容、学習プリント、自己評価等から評価します	・作品 ・学習プリント ・自己評価
技能・知識理解	生活や技術に関する基礎的な事項について理解し、知識を身につけて、その技能を学習プリント、定期テスト、授業中の作業内容、自己評価等から評価します。	・作品 ・定期テスト ・学習プリント ・自己評価

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・日常生活で使用している様々な道具や機械に興味・関心を持ち、授業に臨むようにしてください。
- ・定期テスト前には予想問題が配布されます。計画的に学習を進めてください。
- ・生物育成の題材は、日頃の手入れと観察記録が大切になります。

5 教材等について

- ・教科書：技術・家庭科 技術分野（開隆堂出版）
- ・副教材：生物育成用キット